

## 第 29 回全国小学生作文コンクール

「わたしたちのまちのおまわりさん」

受賞名：優秀賞（高学年の部）

タイトル： いつも頼れる警察官

氏名： 吉岡 太輔（ヨシオカ ダイスケ）

小学校名： 埼玉県 白岡市立南小学校 六年

最近、学校の登校中にパトカーに乗っている警察官が、通学路を走っているのをよく見ます。何で忙しい中、通学路を走っているのだろう、と疑問に思いました。

ある日、他の班の友達が別の班の友達と横並びになって、話しながら歩いているのを見ました。その時に、パトカーが横を通ると、その班の人達が静かになって、一列に並びました。それを見て、警察官が通学路を走る理由が分かった気がしました。それは、学校でおしゃべりをしないで、一列に並んで登下校をしましょう、と言われることと関係があります。僕たちの安全を守っているのです。白岡市の令和二年の交通事故で負傷した人は六十五人いるそうです。これは、去年より三十人も少ないそうです。これは、事故が発生しやすい時間にパトロールをしている警察官のおかげではないでしょうか。僕たちの小学校でも、去年登下校中の事故は無かったそうです。これからも、ルールを守り、事故なく登下校ができるように気をつけたいです。

駅前の交番に落とし物を届けた時のことです。僕は、テレビで犯罪者たちを追いかけたり、捕まえたりしている時のような怖い人たちを想像しておそろおそろ交番に入りました。しかし、想像とは違った優しい声と笑顔で迎えてもらい、とても安心しました。駅前の交番では、落とし物以外にも道を教える仕事もしています。きっと、丁寧に優しく教えてくれるのだと思います。

僕は、どうしてこんなにまちの人たちのためにがんばれるのか、その理由を考えました。それは、警察官のみなさんの優しい心と地域のことを思う気持ちがあるからだだと思います。僕のように、小さいころ警察官にお世話になった人たちが、大人になり、警察官になって、地域の人たちに貢献しようと思っているのではないのでしょうか。そうやって、優しい心や地域のことを思う気持ちがつながれて、今のおだやかで安全な白岡市があるのだと思います。

僕は、警察官が通学路を走る理由を考えていく中で、警察官が地域の子どもたちや困っている人たちにとって、本当に頼れる存在だということがわかりました。これから先も、僕たちのまちを守ってくれる警察官のみなさんを困らせないように、ルールを守った行動を心がけたいです。そして、大人になったら、警察官のように地域に恩返しをしたいです。